



MORINAGA, YOH

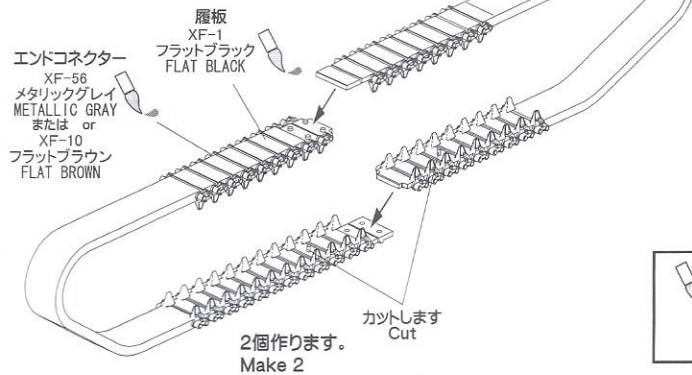
組み立てを始める前にお読みください

- あらかじめ組立説明書に目を通し、全体の流れを把握しておきましょう。
- このキットは3種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤、エッチングの接着には瞬間接着剤をご使用ください。

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

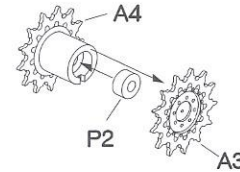
1 キャタピラの組立

キャタピラはプラスチックモデル用接着剤で組み立てます。接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。
Assemble the track with plastic model cement.



2 ドライブsprocketの組立

《ドライブsprocket》2個作ります。
Make 2

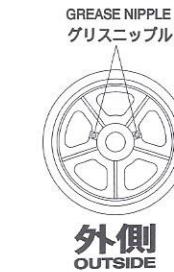
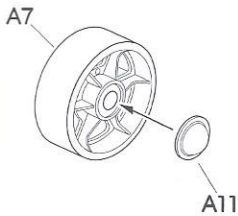


組立図中で特に指示のないところは全て車体色です。車体色は塗装例ごとに異なります。別紙の塗装解説書を参考に塗装してください。
Where color is not specified please use colors as per body color scheme.

3 ホイールの組立

《アイドラーホイール》

2個作ります。
Make 2

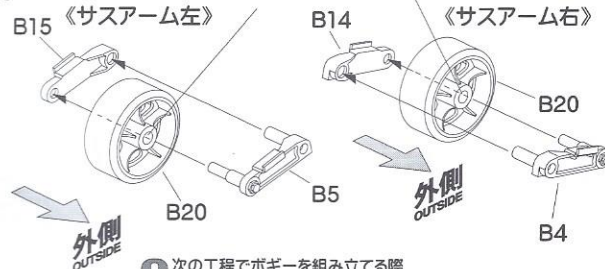


A7, B20はグリスニップルの模様のある側が外側になります。

4 サスペンションアームの組立

各6個作ります。
Make 6

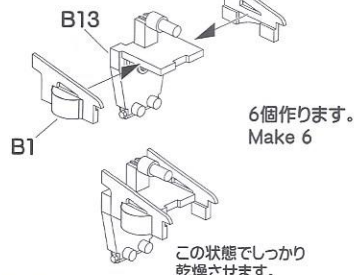
！ホイールに接着剤が付かないように注意します。



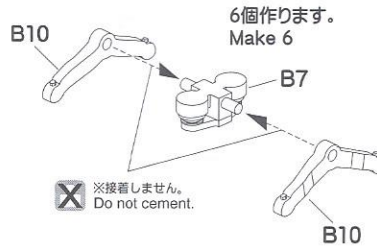
！次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。

5 ボギーの組立 1

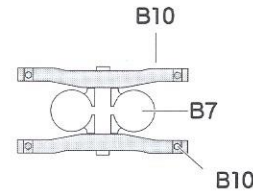
《ボギー本体内側》



《ホリリュースフリンク》



B10の向きに注意します。



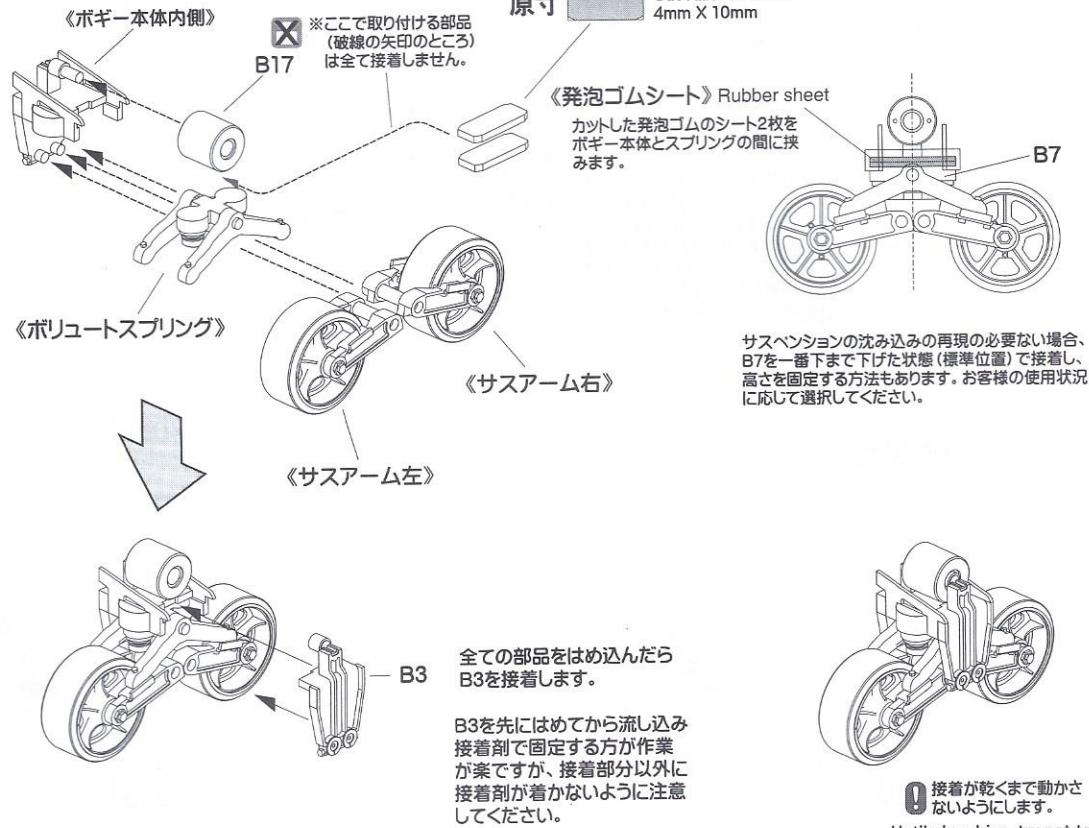
6 ボギーの組立 2

6個作ります。
B3を組み込むまでは間を飛ばさず一度の
工程で組み立てます。

Make 6.

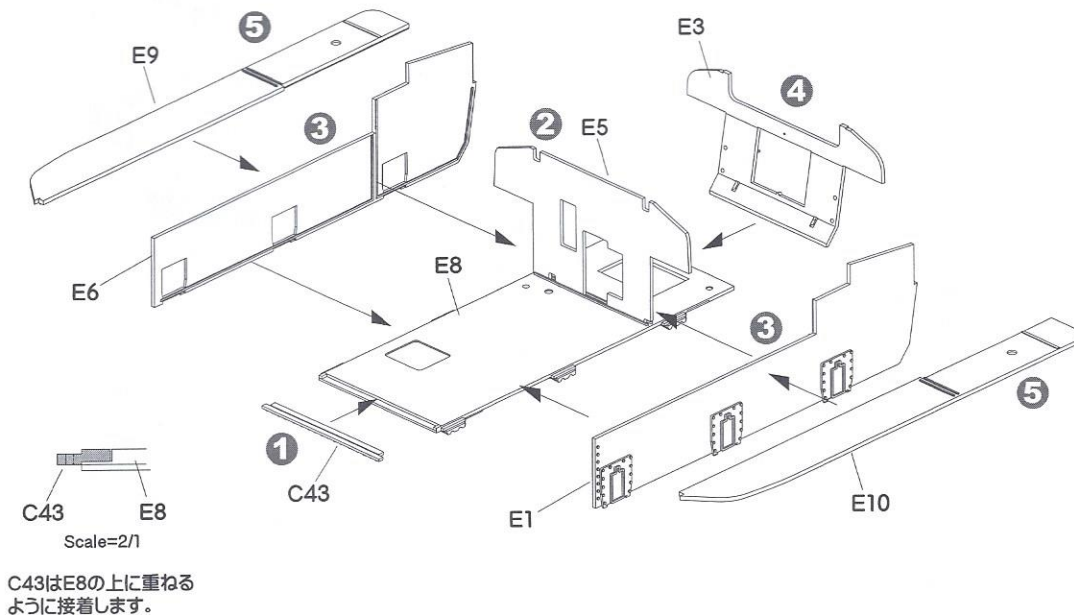
発泡ゴムのシートを約4ミリX10ミリの大
きさにカットし、四隅を更に切り取ります。
下の図を参考にカットしてください。

原寸  Cut rubber sheet.
4mm X 10mm



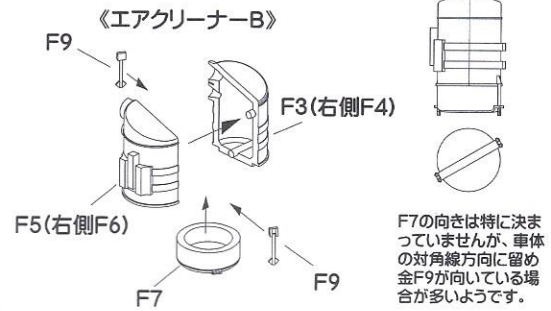
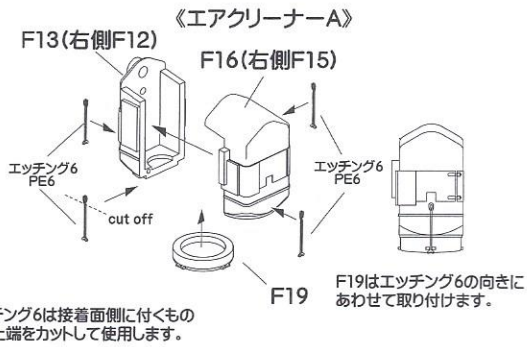
7 車体下部の組立

①から⑤の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認を
しておきます。部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。
この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。
Assemble steps ① to ⑤ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

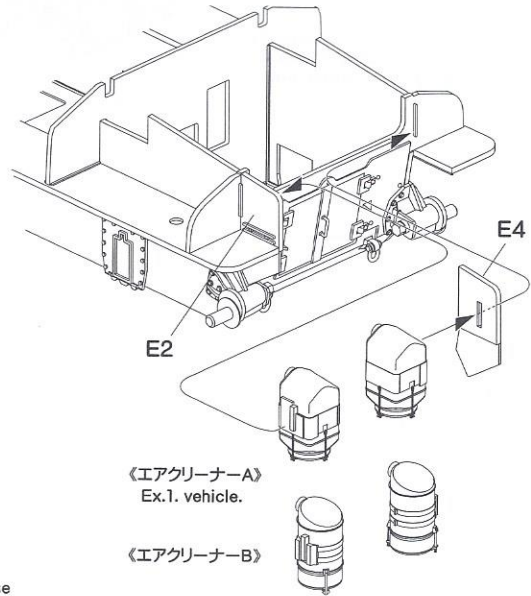
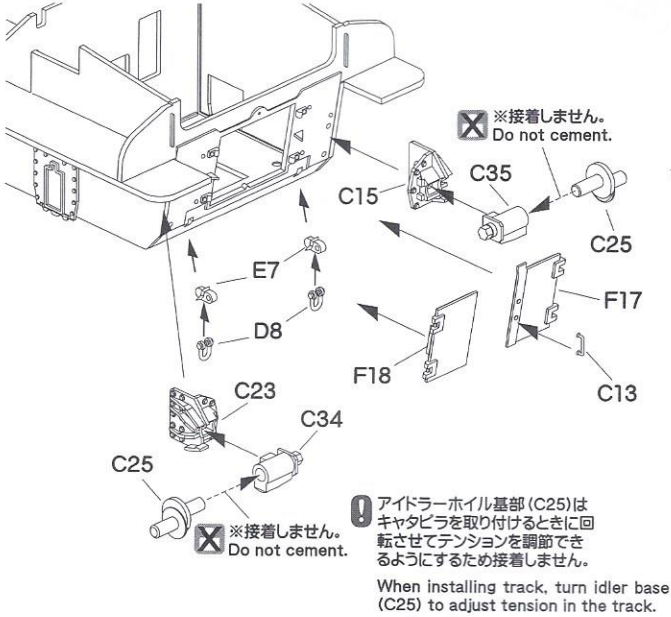


8 エアクリナーの組立

実車ではエアクリナーのタイプはA/Bどちらか確認できませんが、塗装例1はAの可能性が高く、それ以外はお好みのタイプをお選びください。

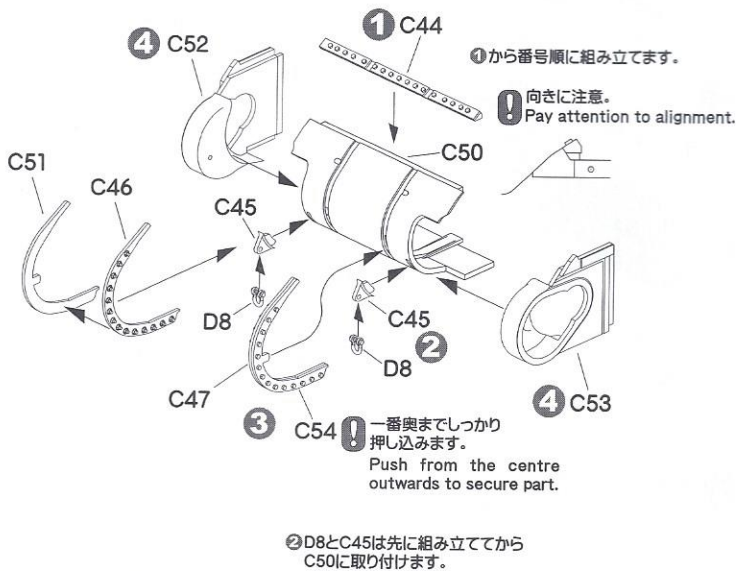


9 リヤパネルの組立

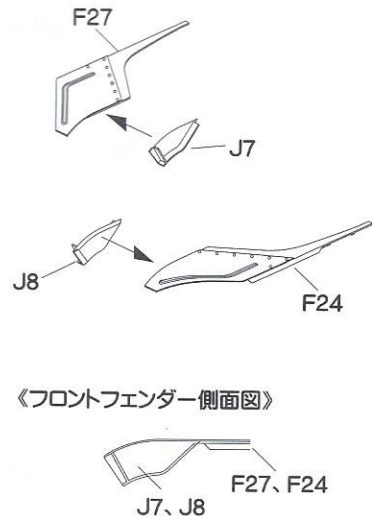


10 テファレンシャルカバーとフェンダーの組立

《テファレンシャルカバー》

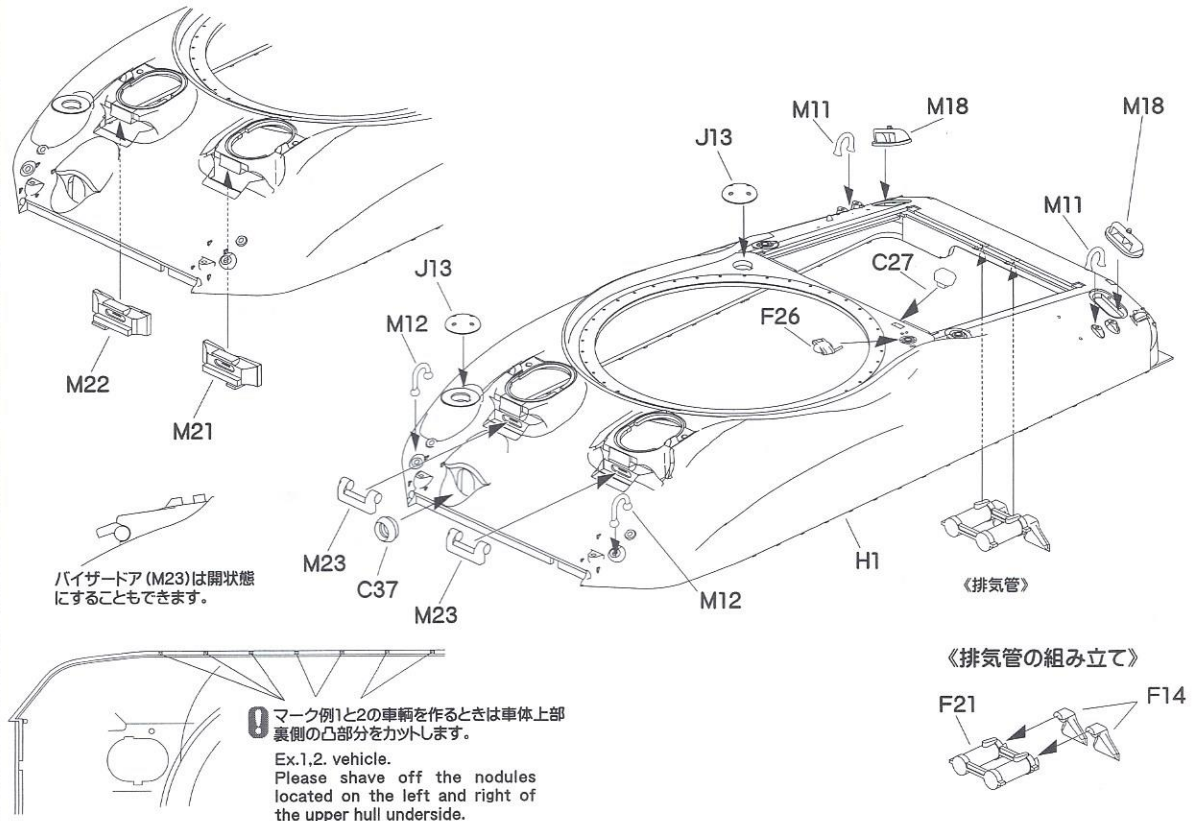


《フロントフェンダー》



11 車体上部の組立

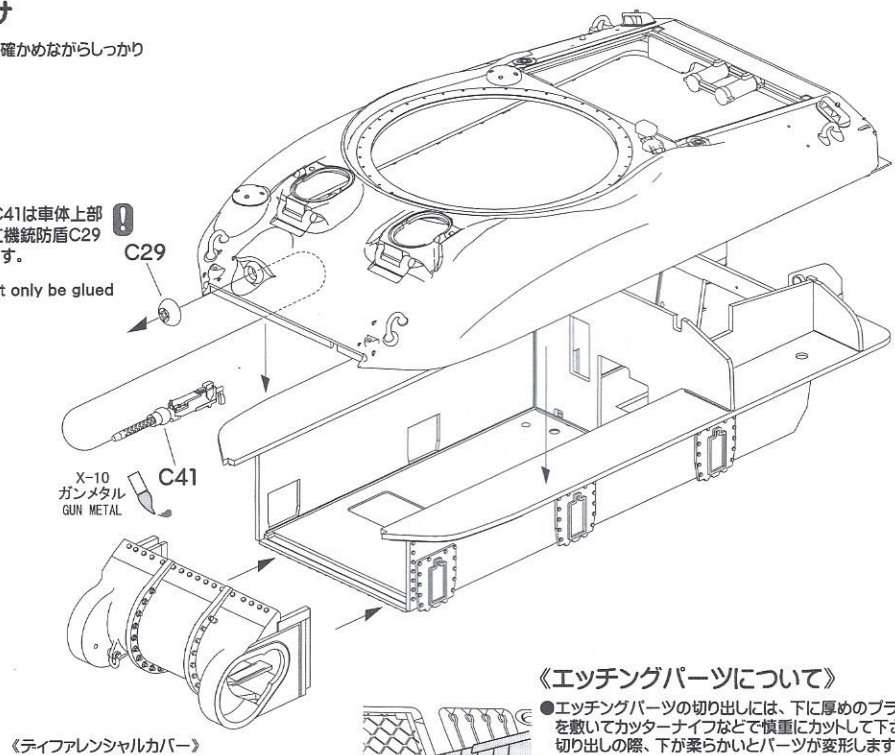
車体上部の裏側から直視バイザー (M22、M21) を取り付けます。



12 車体上部の取り付け

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。

車体前方機銃C41は車体上部には接着せずに機銃防盾C29にのみ接着します。
Part C41 must only be glued to part C29.

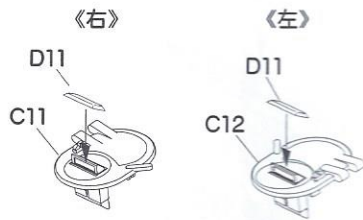
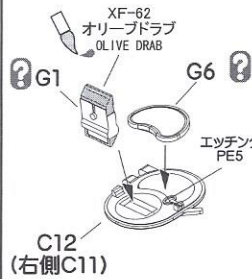


13 ドライバースハッチの組立

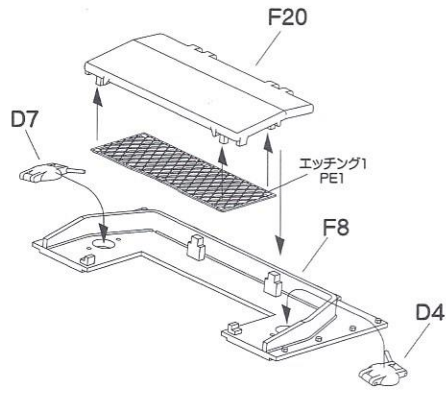
《ハッチ裏側の工作》

G6は取り付け自由です。
ペリスコープ(G1)は透明か色付きの
部品を選びます。

φ0.3mm位の真鍮線
等を使用してハッチに
取手を付けるとよりリ
アルに仕上がります。
右の原寸図を参考に
工作してください。



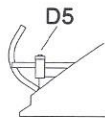
14 エンジンテッキの組立



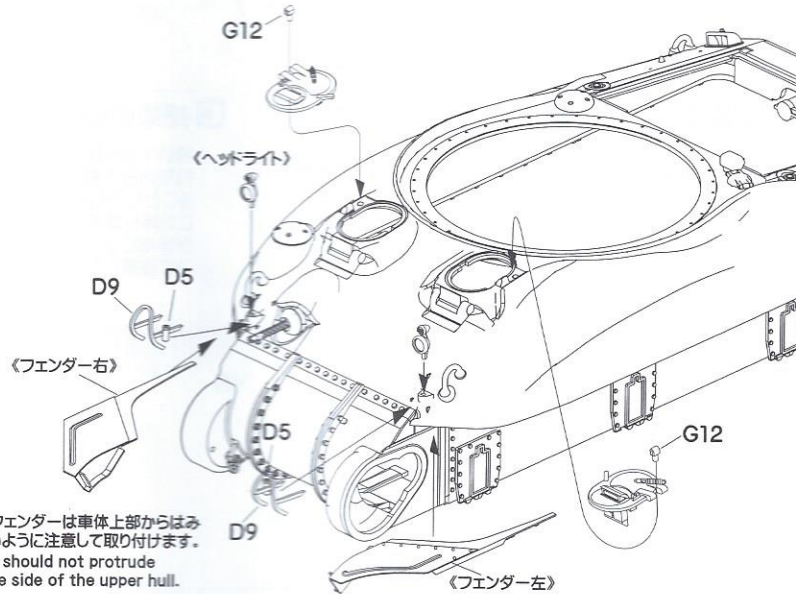
15 車体上部部品の取り付け



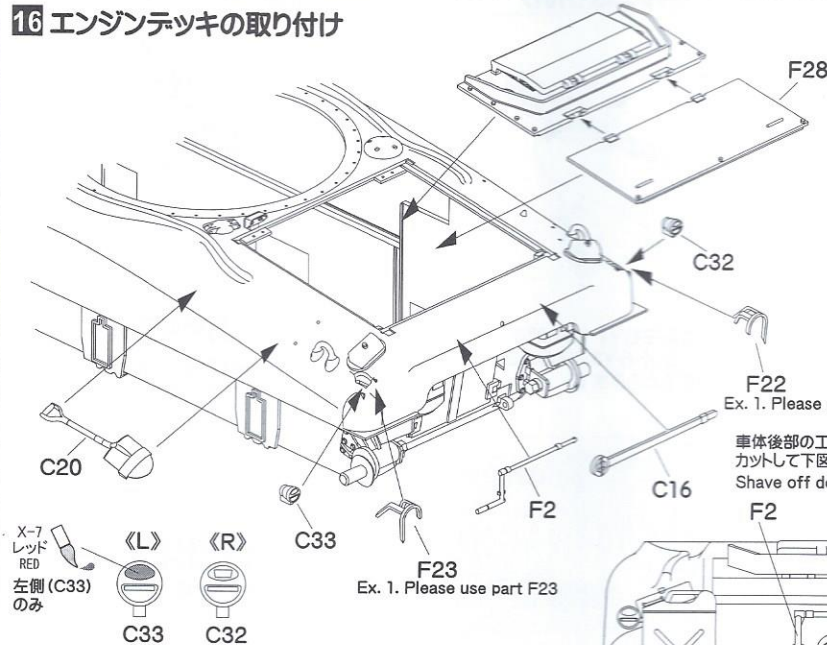
《ヘッドライト》
2個作ります。
Make 2



① 左右のフェンダーは車体上部からはみ
出さないように注意して取り付けます。
Fender should not protrude
past the side of the upper hull.



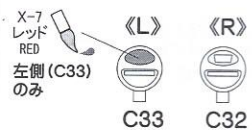
16 エンジンテッキの取り付け



テールライトガードは塗装例1のとき支柱
が2本のものを使用します。それ以外のと
きは車体上部のガイドを削り取ります。
Ex.2 & 3. Shave off F22 and F23
guide supports on the hull body.

F22
Ex. 1. Please use part F22

車体後部の工具類は裏側の半球凸を
カットして下図を参考に取り付けます。
Shave off dowel from back of tools



① テールライト(C32・C33)
は左右に注意します。

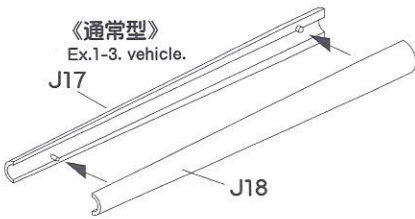
この位置にジェリカン
を搭載している車輛が
多いようです。

19 主砲の組立

《砲身の組立》

《通常型》

Ex.1-3. vehicle.

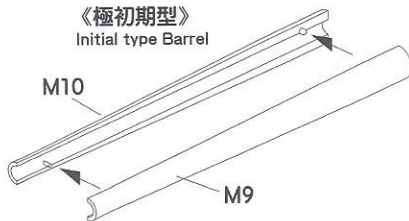


J17

J18

《極初期型》

Initial type Barrel

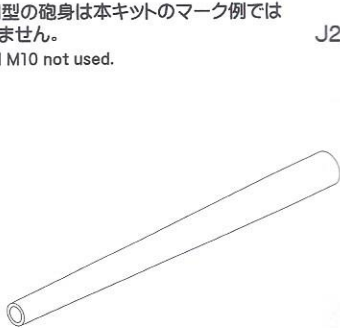


M10

M9

極初期型の砲身は本キットのマーク例では
使用しません。

M9 and M10 not used.



J23

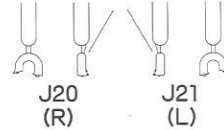
《砲架の組立》

J20

左右を間違えないように
注意します。

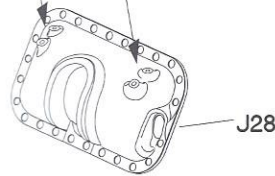
J21

ゲートが内側を向く



J20 (R)

J21 (L)



J28

※接着しません。
Do not cement.

J19

P2

J29

X-10
ガンメタル
GUN METAL

P2

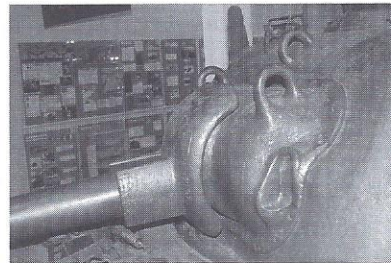
J19

C42

《砲架》

※接着しません。
Do not cement.

防盾 J23は J29にのみ接着します。
主砲と連動するように取組みで位置
をよく確認してください。

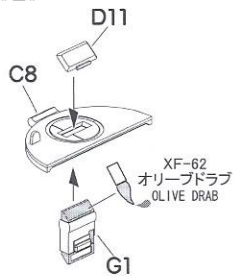


実車のM34砲架です。同軸機銃は取り外されて
います。車体はM4初期型。

20 砲塔部品の組立

《コマンドースハッチ》

《右》



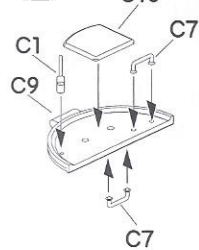
D11

C8

XF-62
オリーブドラブ
OLIVE DRAB

G1

《左》



C10

C1

C9

C7

C7

《排莢ハッチ》

C18

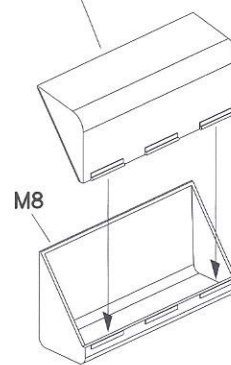
C40



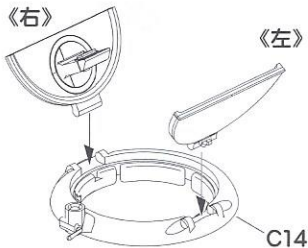
《雑具箱》

M7

M8

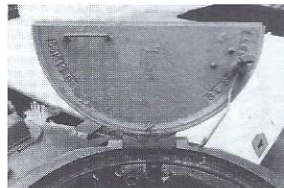


《右》

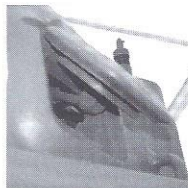


《左》

C14



実車のコマンドースハッチ
パッドは失われています。



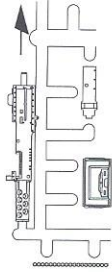
実車の排莢ハッチ
(半開状態)

21 M2重機関銃の組立

このページではキューボラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。

A 機銃本体の組立

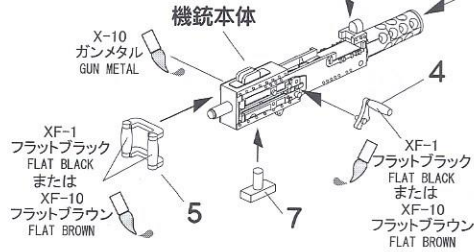
ランナーから
機銃本体を引
き抜きます。



ゲートの跡を
整形します。

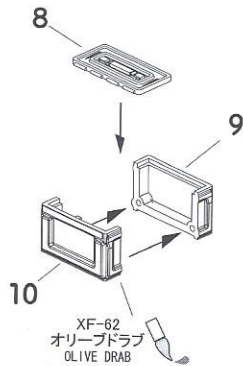


どちらか選びます。

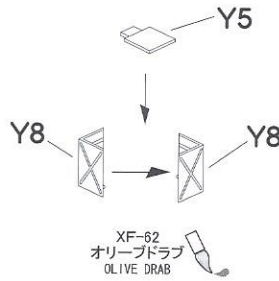


B 弾薬箱の組立

《100発用弾薬箱》

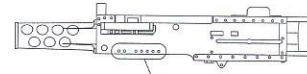


《50発用弾薬箱》

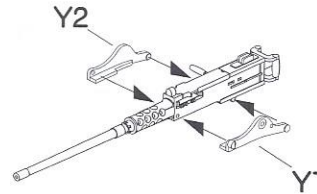


C 揺架の取付

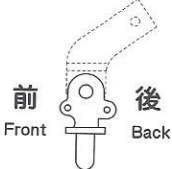
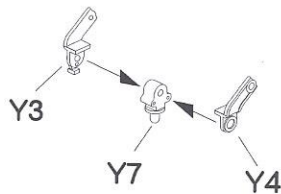
機銃本体を取付けず
揺架のみで組み立て
ることもできます。
この場合は接着部分
が非常に小さくなる
ので注意して下さい。



揺架の付く部分のリベット
模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



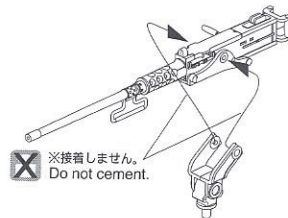
D ピントルの組立



Scale=2/1

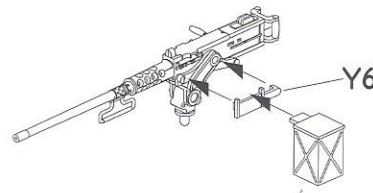
① Y7の向きに注意して
下さい。
Pay attention to the
direction of Y7

E ピントルの取り付け



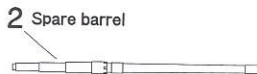
揺架左右Y1・Y2の凹み
にピントルY3・Y4の凸部
をはめ込みます。

F 弾薬箱の取り付け



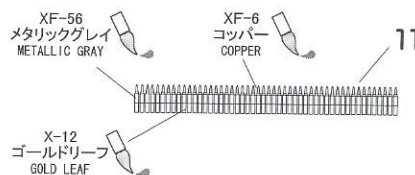
《50発用弾薬箱》
弾薬箱の取り付け
は自由です。

《予備銃身》



本体から取り外した状態
で使用するときはこの部
品を使います。

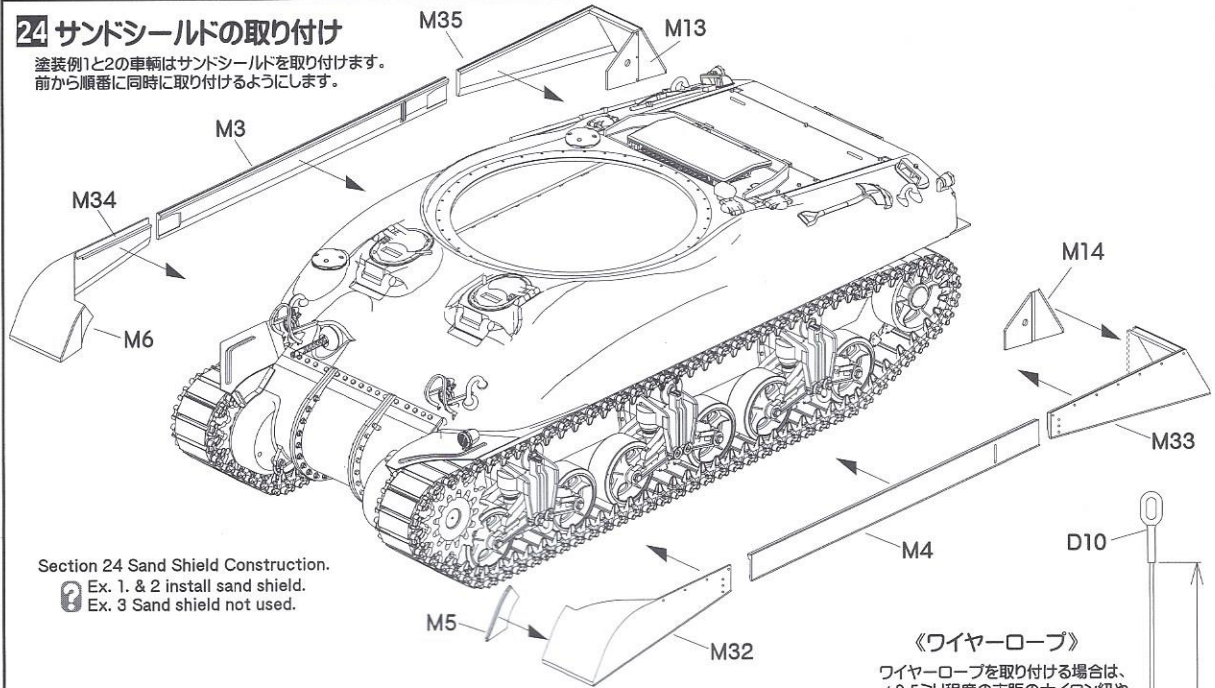
《弾帯》



弾帯はお湯に浸けながらゆっく
り何回か手で曲げて馴染ませます。
急激に曲げると折やすいのでご
注意ください。

24 サンドシールドの取り付け

塗装例1と2の車輛はサンドシールドを取り付けます。
前から順番に同時に取り付けするようにします。



Section 24 Sand Shield Construction.

- Ex. 1. & 2 install sand shield.
- Ex. 3 Sand shield not used.

《ワイヤーロープ》

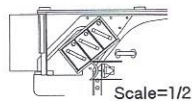
ワイヤーロープを取り付ける場合は、
φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐や
ワイヤーを160ミリの長さで切り出し
両端にD10を接着します。

XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

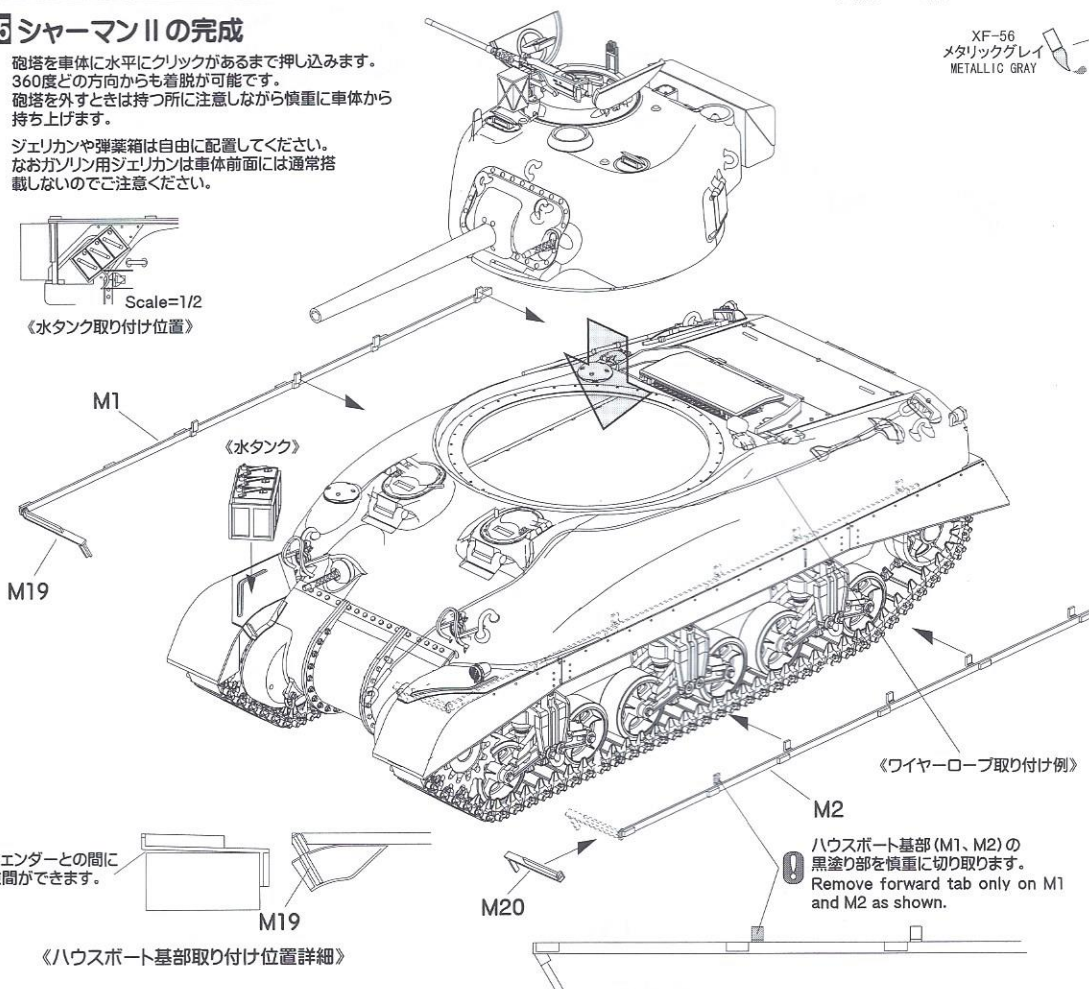
25 シャーマンIIの完成

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から
持ち上げます。

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。
なおガンソリ用ジェリカンは車体前面には通常搭載
しないのでご注意ください。



《水タンク取り付け位置》



フェンダーとの間に
隙間ができます。

《ハウスポート基部取り付け位置詳細》

《ワイヤーロープ取り付け例》

ハウスポート基部 (M1, M2) の
黒塗り部を慎重に切り取ります。
Remove forward tab only on M1
and M2 as shown.

有限会社 タスカモデリズム

〒422-8027
静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103

<http://tasca-modellismo.com>
E-mail info@tasca-modellismo.com
© 2008 tasca MADE IN JAPAN

1/35 アメリカ中戦車M4A1シャーマン 初期型 (直視バイザー型)

35-025

組み立てを始める前にお読みください。 Read before construction

この説明書はM4A1シャーマン初期型(直視バイザー型)の追加説明書です。組み立てに関しては別紙の35-014イギリス陸軍シャーマンII初期型の説明書を含わせてご覧いただく必要があります。それぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てて入ってください。

- この説明書では35-014イギリス陸軍シャーマンII初期型と異なる部分のみの組み立て説明が書かれています。
- このキットは4種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初どの塗装例にするか決めてから製作にかかってください。

This instruction manual is for the 35-025 1/35 U.S. Medium Tank M4A1 Sherman (Direct Vision Type). It is an additional instruction manual for the 1/35 British Army Sherman 2 Direct Vision Type (El Alamein 1942). In regards to assembly, please read this annex carefully and adjust the instruction manual accordingly.

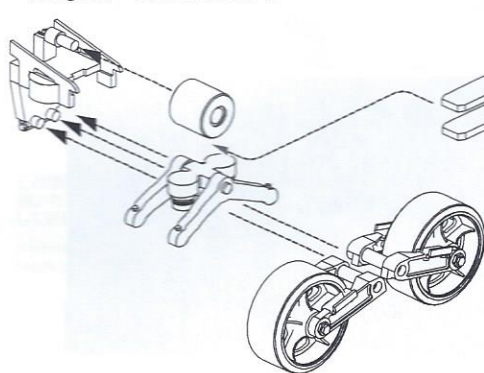
M4A1シャーマン初期型(直視バイザー型)について

第二次大戦が始まった当初、アメリカはまだ参戦していませんでしたが、来るべき戦争への備えが不十分であることに非常に危機感を抱いていました。目前に迫る開戦までに十分な戦車を揃える猶予は殆どなく、新規に75mm砲を旋回砲塔に装備する戦車を開発することは時間的に困難と判断、妥協策としてM2中戦車の足回りを流用したM3中戦車では車体に75mm砲を限定射界で装備することになりました。M3中戦車は大戦初期には充分にこなさずとして役割を果たし、北アフリカでのドイツ軍の進撃を押し留めることに貢献したのです。M3中戦車の開発が一段落すると、75mm砲を旋回砲塔に装備する真の主力戦車となるべき新型中戦車の開発が続いて行われました。このT6と名づけられた新型中戦車はやはり足回りをはしめとするコンポーネントをM3から流用し、新規に車体上部と砲塔を開発することとされ、M3の量産開始から遅れること数か月後の1942年10月にはM4中戦車として制式化が決定されました。試作型のT6は車体上部全体が鋳造製の滑らかなシルエットを持ち、被弾径始に優れたデザインでしたが、大戦中に必要とされる量産数を確保するには鋳造製の車体を製造できる工場が足りず、溶接構造の車体を持つタイプの生産も計画されました。このためM4中戦車は異なる4つのエンジンを同時に採用し、この違いによってM4、M4A1からM4A4まで5つのタイプが並行して生産されることとなりました。

M4A1はT6の流れを汲む鋳造車体を持つタイプで、M4と同じ航空機用星型エンジンを採用していました。M4A1は1942年2月からシャーマンシリーズの中でも最初に量産が開始され、反撃の先鋒として北アフリカのイギリス軍に直ちに供与されたのです。英軍に配備されたM4A1は1942年10月の第二次エル・アラメイン戦に投入され、形成の逆転に成功。これに引き続きアメリカ軍も1942年11月のトーチ作戦により北アフリカに上陸、M4A1はその主力として戦線に投入されました。上陸後、アメリカ軍は東進して1943年1月末にはチュニジアのドイツ軍と初めての戦闘を経験しました。この結戦でカセリーヌ峠を巡る戦いなど多大な犠牲を払いながらも、多くの貴重なデータを得心することになりました。初期のM4A1はドライバーズセクションの前方に直視式バイザー、M3と同じ垂直懸架サスペンションを装備していましたが、戦闘の結果、直視バイザーは防御上の弱点であることが判明し、これを廃止し、サスペンションもスプリングを強化した新型が開発され、中期型に移行していきました。この後も主砲防盾を幅広の新型に改め、車体には増加装甲が追加されるなど改良が加えられながら大戦終結まで使用されました。M4A1の75mm砲型は76mm砲型が生産される直前の1943年8月まで量産が続けられ、合計6281両が生産されました。直視バイザー型も順次新型に置き換えられていきましたが、シシリー島、イタリア本土と転戦し、終戦間際まで戦闘に参加し続けたのです。

6 ボギーの組立 2

Bogies assembly 2

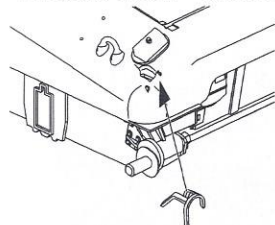


B
サスペンションの高さを固定したい場合はスペーサーパーツBを選びます。
If you want to fix the height of the suspension, choose the B Spacers

XF-62
オリブドラブ
OLIVE DRAB
組立図中で特に指示のないところは全てオリブドラブです。全体の塗装は塗装解説を参考に塗装してください。

16 エンジンデッキの取り付け

Engine deck assembly



F23、F22(右側)

テールライトガードは全ての塗装例とき支柱が2本のものを使用しますが、塗装例1は撃破された実車写真を見ると、最初から付いていなかったようにも見えます。

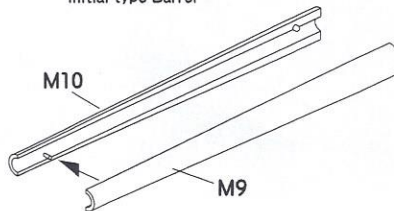
Ex. 1-4. Please use part F22,F23.

19 主砲の組立

Gun Barrel assembly

塗装例1、2のときは極初期型の砲身を使用します。
Use Ex.1,2 Gun Barrel.

《極初期型》
Initial type Barrel



20 砲塔部品の組立

Turret assembly parts

雑具箱 (M7、M8) は組み立てません。
Ex. 1-4. Tool Box (M7 and M8) not needed.

23 ジェリカンと水タンクの組立

Jerry and water tank assembly

英軍用水タンク (M15、M16) とホルダー (M24、M26) は使用しません。
Water tank (M15 and M16) with the holder (M24 and M26) not needed.

24 サンドシールドの取り付け

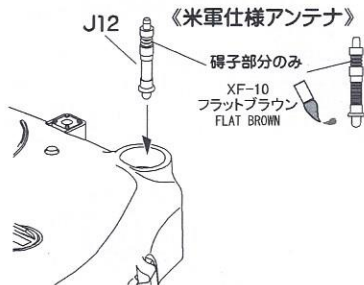
Replacing the Sand Shield

塗装例2、3のときはサンドシールドを取り付けます。
Ex. 2 & 3 install sand shield.
Ex. 1 & 4 Sand shield not used.

22 砲塔の組立

Turret assembly

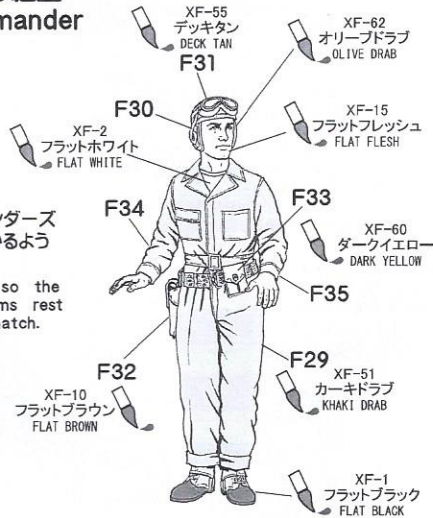
英軍用アンテナ (M25、M28) は使用しません。
Antenna (M25 and M28) not needed.



人形の組立

Commander

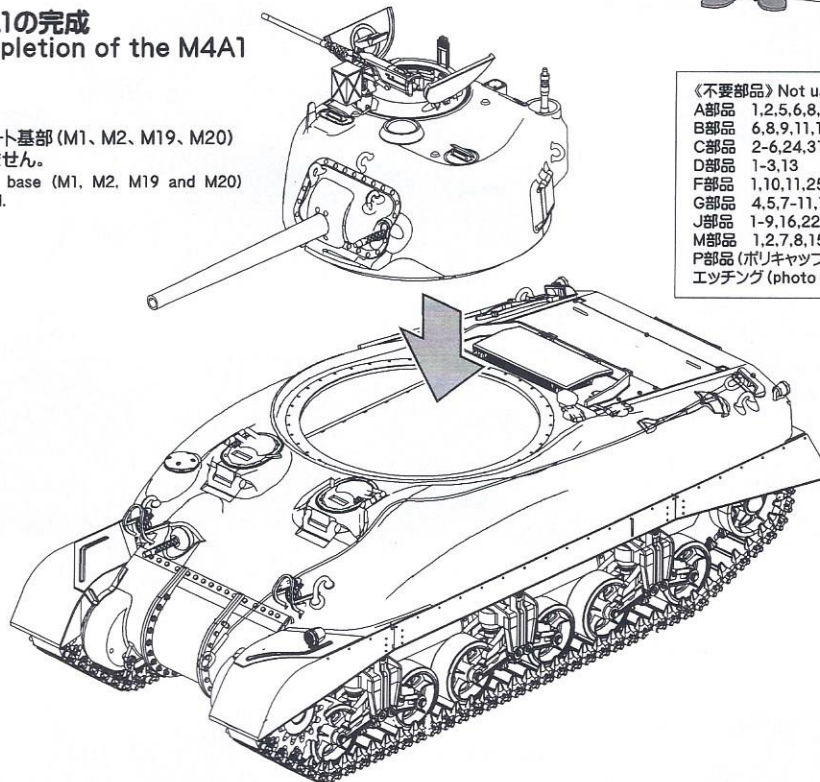
人形の腕がコマンドーズハッチの縁にかかるように組み立てます。
Assemble the hatch so the Commanders arms rest on the edge of the hatch.



25 M4A1の完成

Completion of the M4A1

ハウスボート基部 (M1、M2、M19、M20) は使用しません。
Houseboat base (M1, M2, M19 and M20) not needed.



《不要部品》 Not used.
A部品 1,2,5,6,8,9,12
B部品 6,8,9,11,12,16
C部品 2-6,24,31,36,38,39,48,49
D部品 1-3,13
F部品 1,10,11,25
G部品 4,5,7-11,13,15,16
J部品 1-9,16,22,24,25,26,27
M部品 1,2,7,8,15-17,19,20,24-31
P部品 (ポリキャップ poly cap) 1
エッチング (photo etched parts) 2,3,4

■アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。上記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

●電話/FAXでの受け付け
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103

●メールでの受け付け
info@asukamodel.com

●お手紙での受け付け/部品代金の送付先
〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30 有限会社 アスカモデル 部品請求係

有限会社 アスカモデル

〒422-8027
静岡県駿河区豊田3-5-30
TEL 054-203-2100 FAX 054-203-2103
http://asukamodel.com
E-mail info@asukamodel.com

© 2011 asuka MADE IN JAPAN

塗装とマーキング

CAMOUFLAGE & MARKING

■M4A1直視バイザー型の塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。1942年11月のトーチ作戦によってアルジェリアに上陸した時点でのアメリカ軍車輛は国籍マーク等が黄色で描かれていましたが、1943年10月のシシリー島上陸作戦(ハスキー作戦)の頃までには白に改められました。また初期の米軍車輛の登録ナンバーは薄い青で書かれていましたが、こちらも1943年頃からは白に変更されています。第66機甲連隊の車輛はチュニジア戦後の一時期には対空識別のため、砲塔上面を黄色く塗装していました。このマーキングはイタリアへ転戦する頃には消されていたようです。イタリア戦線以降の米軍車輛は、砲塔上面若しくは車体エンジンデッキ上に星のマークを対空識別マークとして描くようになりました。

■テカールの貼り方

1. 貼りたいテカールを切り取ります。
2. 切り取ったテカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、テカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつずらしながら微調整します。
6. テカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったテカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールトなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のテカール軟化剤などを使用してください。

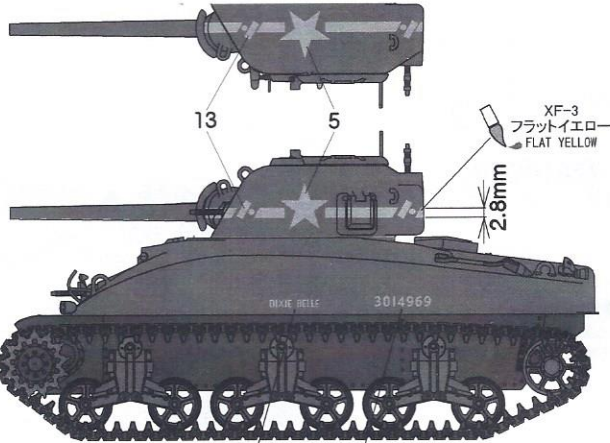
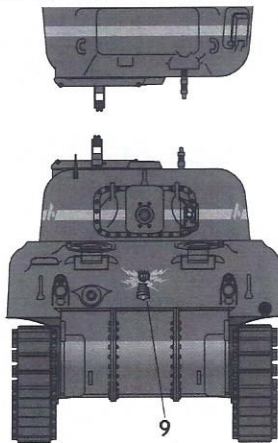
■カラーナンバー対応表 ※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR	GS1クレオス Mr.カラー
X-7 レッド	③ レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロームシルバー	⑧ シルバー
X-12 ゴールドブリーフ	⑨ ゴールド
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-2 フラットホワイト	33 つや消しホワイト
XF-3 フラットイエロー	39 キャラクターイエロー
XF-6 コッパー	10 コッパー
XF-10 フラットブラウン	13 赤褐色
XF-15 フラットフレッシュ	51 肌色(フレッシュ)
XF-51 カーキドラブ	54 カーキグリーン
XF-55 テッキタン	44 タン
XF-56 メタリックグレイ	28 黒鉄色+30フラットベース
XF-60 ダークイエロー	39 ダークイエロー
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

塗装例 1&2

第1機甲師団 第1機甲連隊 第3大隊 H中隊 "DIXIE BELLE"1943年2月 チュニジア
"DIXIE BELLE" H Company, 3rd Battalion, 1st Armored Division, Tunisia, February 1943.

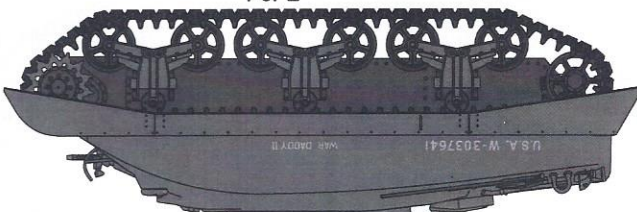
Marking Ex. 1&2.



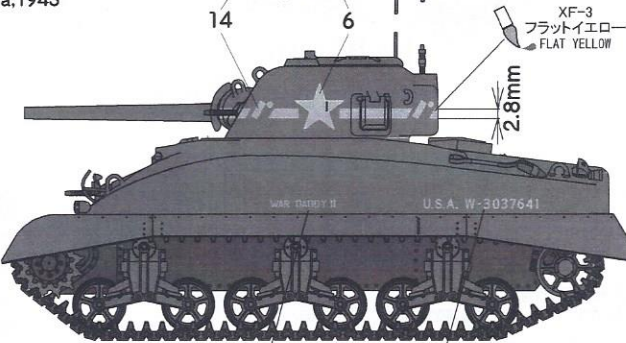
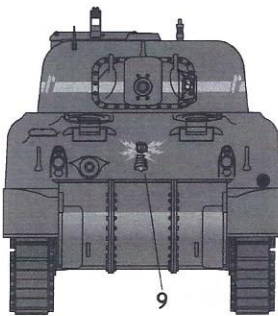
1又は2 1 or 2
11 右側も貼ります。 Both sides.

この部隊は防盾を除く砲塔の周囲に幅2.8mmの黄色の帯が描かれていました。図を参考にテカールの部分をマスキングして塗装してください。

Yellow band around turret should be 2.8mm.
Note yellow band was not painted on gun shield.



G中隊 "WAR DADDY II" 1943年 チュニジア 1943年 チュニジア
Tank No.1 "WAR DADDY II", G Company, Tunisia, 1943

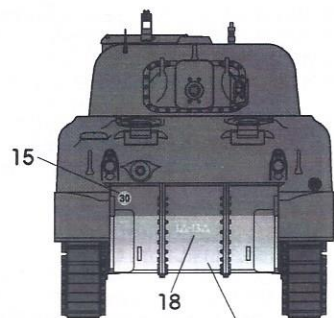
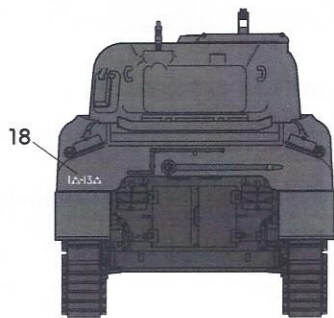


3又は4 3 or 4
12 右側も貼ります。 Both sides.

塗装例 3

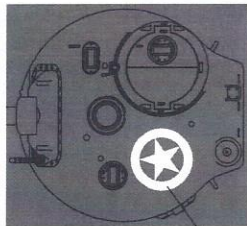
第1機甲師団 第13機甲連隊 1943年11月 イタリア
13th Armored Regiment, 1st Armored Division, Italy, November 1943.

Marking Ex. 3.

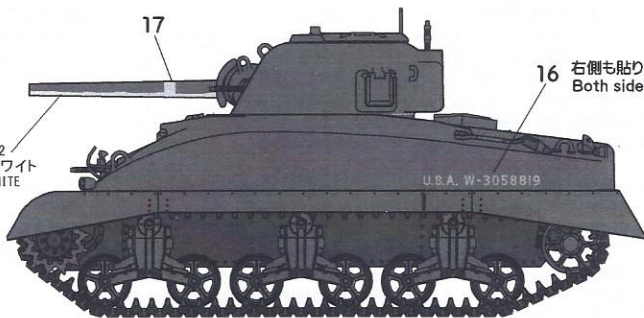


XF-2
フラットホワイト
FLAT WHITE

この車輛は砲塔上面に国籍マークが描かれていた可能性があります。
For Ex.3 Possibility of star mark on turret.



10



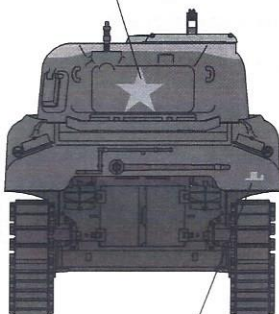
16 右側も貼ります。
Both sides.

塗装例 4

第2機甲師団 第66機甲連隊 F中隊 "FORGET IT" 1943年 アルジェリア オラン
"FORGET IT" F Company, 66th Armored Regiment, 2nd Armored Division, Oran, 1943.

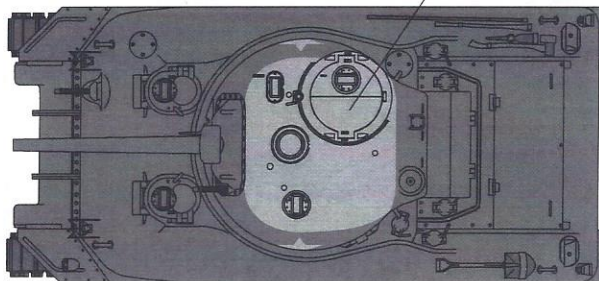
Marking Ex. 4.

5 砲塔後部にも描かれていた車輛もありました。
Optional.

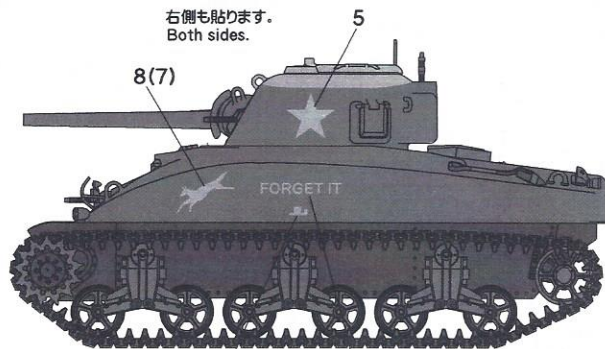
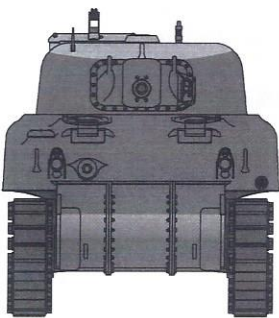


20

XF-3
フラットイエロー
FLAT YELLOW



右側も貼ります。
Both sides.



20

19

Information

READ BEFORE BULD

We inform about the cement and paints of the belt tracks.

Section **1** track assembly on main instructions

T51-tracks	T48-tracks
T49-tracks	T48-w/Duckbill tracks
T62-tracks	

CEMENT

Assemble the track with **instant adhesive**.
The jelly type that can be adjusted is recommended.

PAINTS

Paints the track with **lacquer paint**.
Please don't use enamel paint.

For example
GSI Creos
Mr Color C33
Flatblack

Undercoat

To keep paints, the use of the **primer** is recommended
before injection part is installed.

Please paint it very thinly
by airbrush or a brush.

For example
Gaianotes primer series P-01 Multi Primer

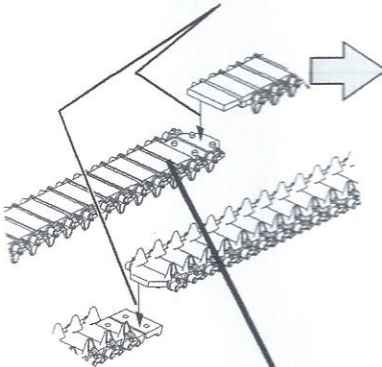
1 Track assembly

Asuka Model CO.,LTD

~~キャタピラはプラスチックモデル用接着剤で組み立てます。~~
接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。
Note avoid applying cement to moving parts.

《① Track assembly》

Assemble the track with **instant adhesive**.



《② Undercoat》

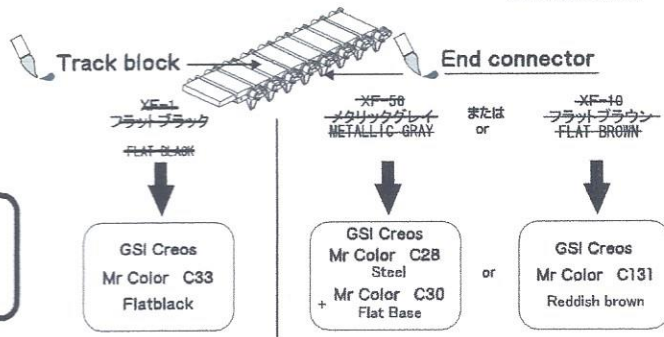
To keep paints, the use of the **primer** is recommended.

For example
Gaianotes primer series P-01 Multi Primer

《③ Paint》

Paints the belt track with **lacquer paint**.
Please don't use enamel paint.

For example
GSI Creos
Mr Color C33
Flatblack



T51-tracks	T48-tracks
T49-tracks	T48-w/Duckbill tracks
T62-tracks	